

令和5年度 学校評価アンケート集計結果

流山市立おおたかの森小学校

1 はじめに

令和5年度学校評価保護者アンケート実施にあたり、多くの保護者の皆様より各項目や内容等の評価を頂戴しましたことに心より感謝いたします。

本校では、学校教育目標「未来にはばたく子供を育てる」、合言葉を「つよく かしこく あたたかく+光る汗」として教育活動を進めてきました。5月に新型コロナウイルス感染症が5類となり、学校の教育活動に拡がりが見られるようになりました。感染症対策は継続し、児童の安全・安心を第一に教育活動に取り組んでまいりました。

本結果を教職員でしっかりと分析し、成果は更なる一歩を目指し、課題は成果に転じるよう改善を図っていきたいと思います。

2 学校教育目標の具現化に向けた取組

グラフの系列



1 子供の健康・体力づくり **つよく**

【質問項目】

○保護者：学校は、子供の健康・体力づくりを進めている。

○児童：体育や休み時間に、よく体を動かしている。

○職員：体育や休み時間など、児童の健康・体力づくりに努めている。



今年度は昨年度よりも運動する機会を増やすよう教育活動を計画しました。水泳指導の回数の増加や、部活動での積極的な大会参加が挙げられます。また、今後も業間休みや昼休みの外遊びを推奨し、異学年交流のふれあい活動等を通して楽しく体力作りができるようにしていきたいと考えます。

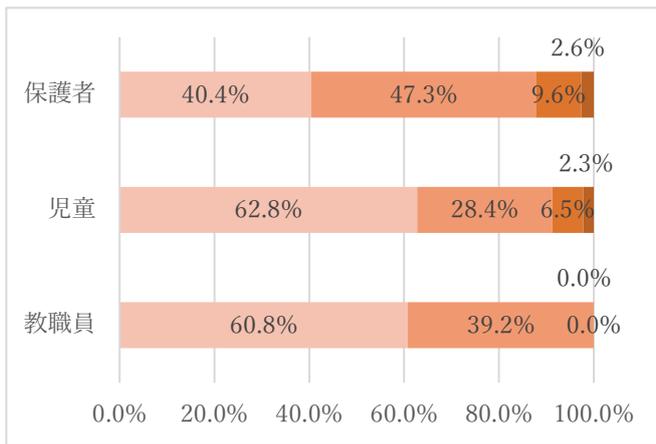
2 楽しい、わかりやすい授業 **かしこく**

【質問項目】

○保護者：子供は、授業が楽しい、わかりやすいと言っている。

○児童：授業は、楽しい。わかりやすい。

○職員：わかる授業の実施に努めている。

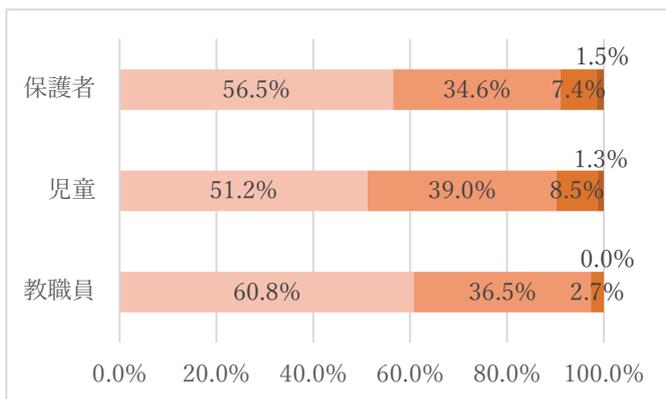


91.2%の児童が「授業が楽しい。わかりやすい。」と答えています。全ての職員が「わかる授業の実施」に努め、『19 学習問題の提示・まとめ』の結果からも授業の課題を明確にし、わかりやすい授業を心がけていることがわかる反面、一定の児童・保護者から、授業の評価を得られていないようです。教材研究や研修を通じ、今後も、授業力を向上させるよう教員一人一人の研鑽に努めると共に、主体的に学習する児童の育成を目指していきます。

3 家庭での学習 かしこく

[質問項目]

- 保護者：子供は、家庭で学習（宿題も含む）をしている。
- 児童：宿題や家庭学習などしっかり勉強している。
- 職員：家庭学習を活用した基礎・基本の定着を図っている

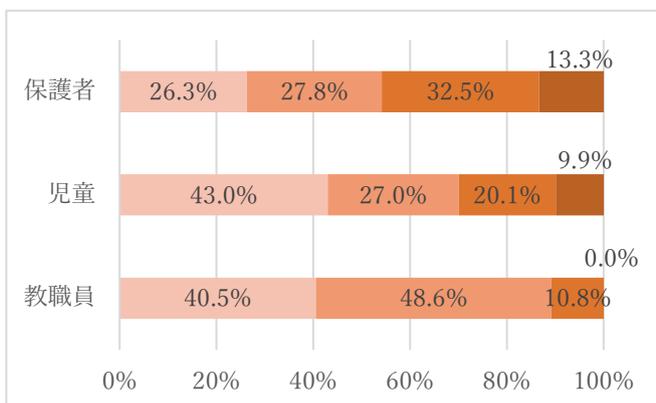


学校では、児童の実態に応じ、復習を中心とした宿題を出しています。家庭に持ち帰ったタブレット端末に従来のドリル・プリントだけでなく、オンラインでの宿題を提供することもあります。一定数、家庭学習に取り組めていない児童がいるため、今後も家庭と連携して家庭学習の定着に努めたいと考えております。

4 子供の読書 かしこく

[質問項目]

- 保護者：子供は、読書をよくしている。
- 児童：本をよく読んでいます。
- 職員：読書活動の推進に努めている。



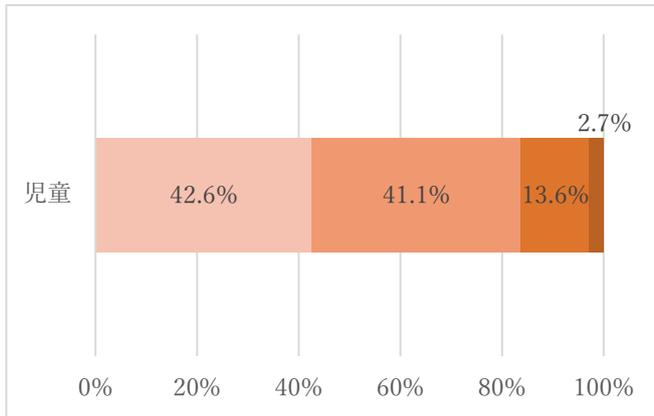
今年度の重点の一つが読書活動です。新たに学級文庫を設置して、本が手に届く場所にと取り組んできました。学校では主に低学年が中心で図書室を利用しています。昨年と肯定的な回答数は変わりませんでした。さらにもう一工夫して本に親しみ、読書を推進する取組を行っていきたいです。

5 授業への取組

かしこく

[質問項目]

○児童：学習中、先生や友達の話をしっかり聞き、よく発表している。



肯定群の回答が昨年度より2%増えました。ICT端末を活用したことにより自分の考えを積極的に発表しようという児童が増えてきています。しかし、少数の児童が授業に対し消極的であったり、興味関心を持てなかったりしている様子がみられます。授業を改善しながら、どの児童も主体的に学ぶことができる授業づくりに努めていきたいと考えます。

6 周りの人へのあいさつ

あたたかく

[質問項目]

○保護者：子供は、周りの人にあいさつをしている。

○児童：毎日、元気よくあいさつしている。

○職員：「あいさつ」ができるよう指導を行っている。



学校の挨拶指導に対する評価と、保護者・児童の挨拶の捉えに差があります。学校では、児童同士、職員、来校者に限らず、お世話になっている地域の方々にも挨拶を広げるよう指導しています。引き続き、ご家庭や地域の協力を得ながら、自ら進んで挨拶できるよう指導を行っていきます。

7 明るい学校・学級づくり

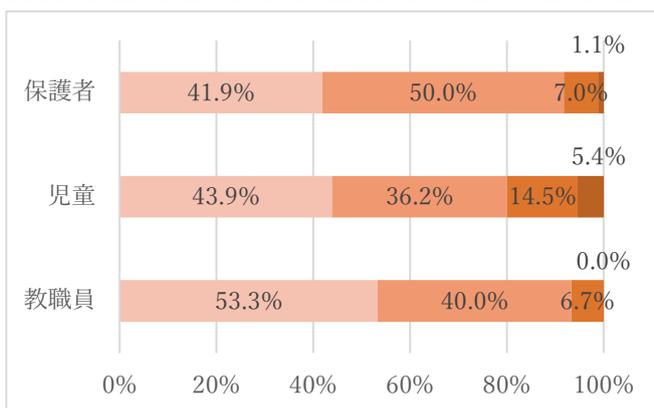
あたたかく

[質問項目]

○保護者：学校は、子どもたちが明るく生き生きと活動できるよう努めている。

○児童：友だちと仲良くできている。

○職員：子どもたちが明るく生き生きと活動できるよう努めている。



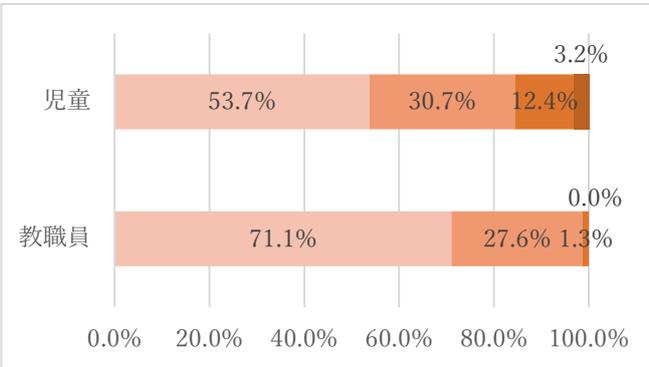
本アンケートにおいては、児童の80%が友だちとなかよくできていると答えています。日頃の見守りや各アンケートによる問題の未然防止に努めているところです。問題が発生した際には、家庭と連絡を取り、担任だけでなく組織として対応し、早期解決に努めています。今後も、児童が安心・安全を確実なものにしていきたいと思います。

8 個性の伸長

あたたかく

[質問項目]

- 児童：先生は、自分のがんばったことをほめてくれる。
- 職員：児童の良さを認め、励まし、伸ばしている。



職員は、一人一人のよさを認め、励ますことを意識しながら児童に接していますが、一部の児童にはほめてもらったという満足感が得られていない現状があると捉えています。児童一人一人のよさを見取り、認め、励まし、児童の自己肯定感が高まるような接し方を心掛けていきたいです。

9 個に応じた指導

あたたかく

[質問項目]

- 保護者：学校は、児童一人一人に寄り添い、丁寧に指導している。
- 児童：先生は、こまった時、一緒に考えてくれる。
- 職員：児童一人一人に寄り添い、丁寧に指導している。

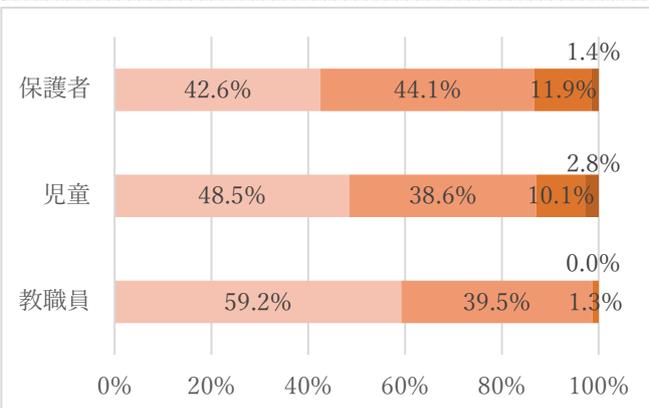


職員と児童・保護者の捉えに乖離が見られます。より一層児童理解に努め、一人一人の困り感や状況に寄り添った指導を心掛けていく必要があると感じました。日々の保護者との連絡をはじめ、学級懇談会、個人面談の場を通し、職員が日々寄り添った指導を行っていることを具体的に知らせていきます。

10 何事にも取り組もうとする姿勢

[質問項目]

- 保護者：子どもは、自分のやりたいことを見つけて取り組もうとしている。
- 児童：進んで新しいことに挑戦している。また、挑戦しようとしている。
- 職員：何事にも挑戦させようとしている。



今年度は児童主体の行事を多く取り入れました。一人一人の児童に役割をもたせ、活躍する場を設定しています。はじめてのことでも自信を持って取り組めるように、丁寧に支援していきたいと考えています。活動する場を広げることで、児童の主体性や意欲を高めていきたいと思えます。

1 1 学校が楽しい

[質問項目]

○保護者：子供は、楽しく学校に通っている。

○児童：学校は楽しい。



約9割の児童が学校が楽しいと感じています。学校生活が充実しているのは大変うれしいことです。反面、そうでない1割の児童が、安心して生活できる学級づくり、わかる授業の実践など、全ての児童が楽しく安心して過ごせる工夫をしていきたいです。また、増加傾向の登校しぶりに対しても丁寧に取り組んでいきたいと思っています。

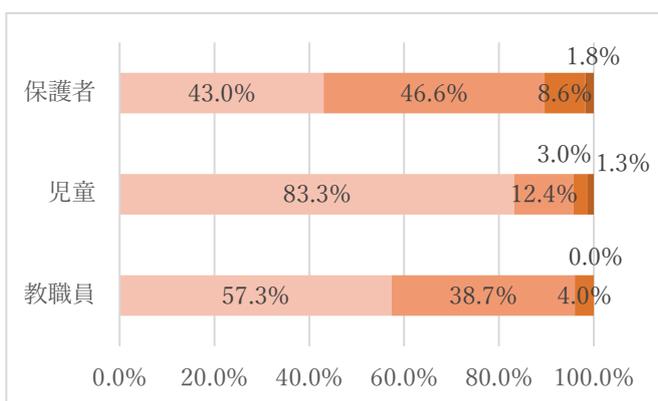
1 2 学校行事や活動の充実

[質問項目]

○保護者：感染症等の状況に応じて学校行事や教育活動が工夫して行われている。

○児童：校外学習や運動会、芸術鑑賞などの学校行事が楽しい。

○職員：感染症等の状況に応じて学校行事や教育活動の工夫に努めている。

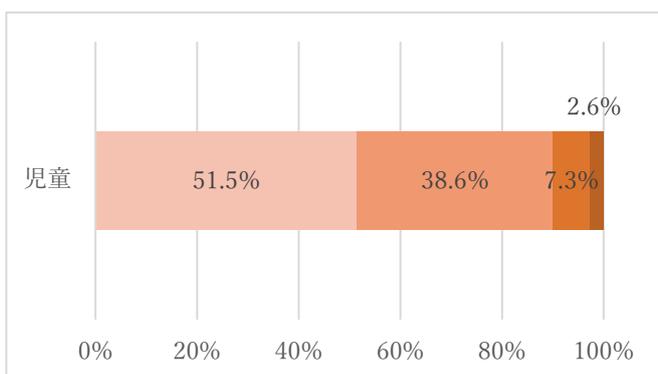


運動会では応援での声出しやリレーが昨年度の種目に追加されました。声を出しての応援はより一体感や士気が増し、思い出深いものとなりました。一つ一つの行事や活動が、児童の成長につながっていきます。今後も、様々な工夫を凝らしながら、教育活動に努めていきたいと考えています。

1 3 清掃活動

[質問項目]

○児童：そうじを一生懸命している。



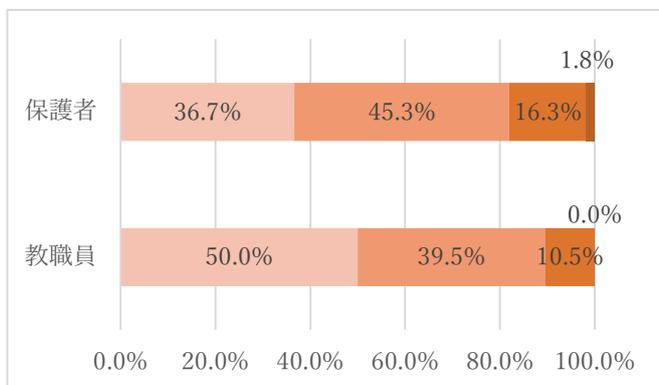
9割の児童が一生懸命掃除をしていると捉えています。清掃活動は、環境美化という側面だけでなく、勤労奉仕の精神や協力性を養うという側面もあります。さまざまな意義を持つ清掃活動を今後も大切にし、自分たちの学校をみんなできれいにしようと思える心を育てていきたいです。

14 学校だよりやホームページの充実

【質問項目】

○保護者：学校は、ホームページや学校便り等で、学校の様子をわかりやすく伝えている。

○職員：学年だよりや懇談会等で、学校の様子を積極的に伝えている。



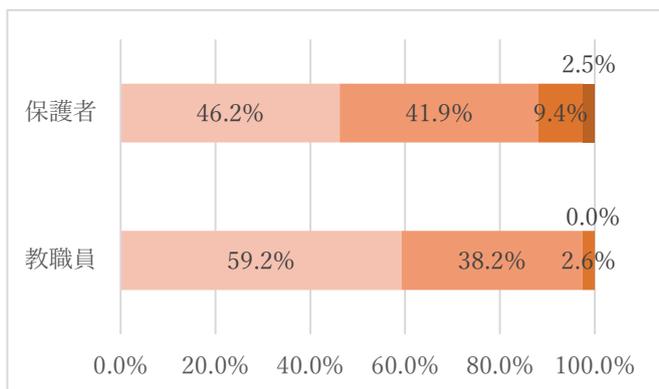
学校だより等の各種たより、ホームページ、スキットメールをとおして、学校の実践や児童の活動の様子を伝えるよう努めてきました。また、学級閉鎖の際にはオンラインでの授業を行いました。今年度は学年差があったので、今後はより多くの方に学校の実践、児童の様子を伝えられるよう工夫していきたく思います。

15 家庭との連携

【質問項目】

○保護者：学校は家庭への連絡を適切に行っている。

○職員：家庭との連絡を密に行っている。



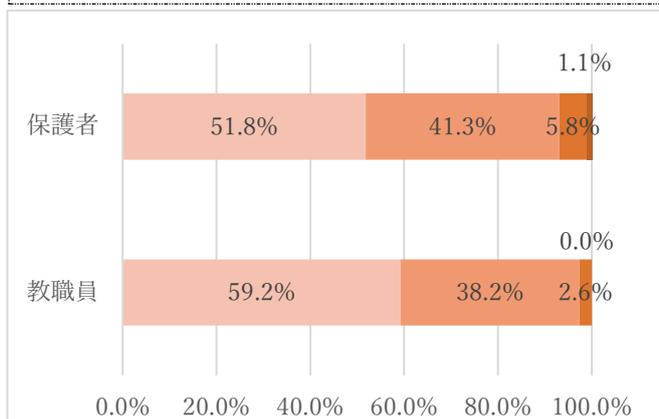
多くが肯定的な回答ですが、連絡が適切でないという回答が12%みられました。担任は必要な連絡については時間外でも入れるよう努めております。今後も適切な連絡を心掛け、児童のために連携体制を強化していきます。また、問題が起こったときにはすぐに連絡し対応していくように徹底していきます。

16 子供たちの安全を守る

【質問項目】

○保護者：学校は、子供たちの安全を守ろうと努力している。

○職員：交通安全や不審者に対する指導等、児童の危機管理意識の育成を図っている。



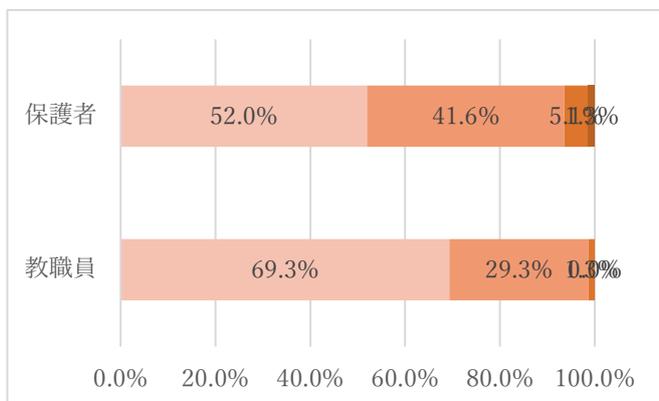
地域・PTAの方々の多くの御協力のおかげで登下校での交通事故は発生しませんでした。登下校のルールを守れない児童もいて、交通安全やルール、マナーについて指導が必要な場面があります。また、自然災害はいつ起こるかわからないので、自分の命は自分で守れる危機管理意識を育てていきたく考えています。

17 教育相談の充実

[質問項目]

○保護者：学校は、保護者の相談に適切に対応している。

○職員：児童や保護者の相談に適切に対応している。



学級担任への日常的な相談のほか、教育相談担当の職員による相談、月1回の教育相談日、スクールカウンセラーによる相談の機会を設けてきました。さらに、保護者の肯定的な回答が増えるよう、相談窓口を広く周知するとともに、真摯に対応できるよう今後も努めていきたいと思ひます。

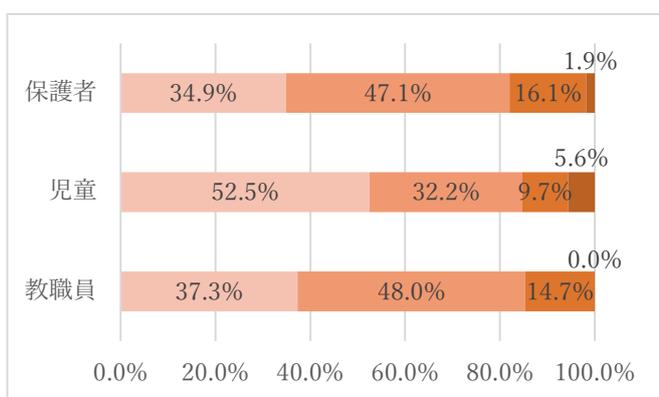
18 異学年交流・小中連携

[質問項目]

○保護者：学校は、異学年との連携を視野に入れた活動を行っている。

○児童：自分の学年以外の人と一緒に過ごすことが楽しい。

○職員：ふれあいや小中連携を視野に入れた異学年交流に取り組んでいる。

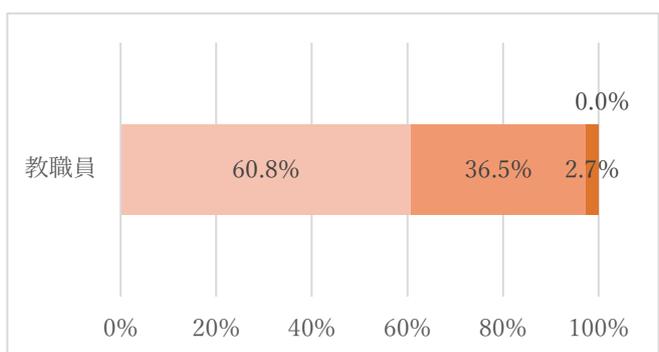


異学年交流としては、1・6年、2・5年、3・4年をペア学年としてレク活動を行うふれあい委員会を新設して「ふれあい活動」を学期に1回実施してきました。小中連携では、小中合同避難訓練や部活動合同練習、募金活動を実施しました。能登の募金活動は新設した福祉委員会が自発的に取り組みました。新聞で活動の様子が紹介されました。

19 学習問題の提示・まとめ

[質問項目]

○職員：学習問題の提示、まとめを行っている。



授業の進め方や授業のきまり等、児童が主体的に学習に取り組むために、職員は日々研鑽を重ねています。学習問題の提示・まとめは、授業での課題を明確にし、学んだことを確実に身に付けるために必要です。「主体的・対話的で深い学び」を実現するためにも、引き続き学習問題の提示やまとめを行う授業を進めていきます。

3 学校評価委員の皆様からの御意見等

- ・ 6年生を送る会の参観をしましたが、大変感動しました。1年生から6年生の成長がはっきりとわかります。1・2年生はかわいいという感じですが、5・6年生はさすがだなという感じがします。6年間をとおし、確実に子供が成長しているということを感じることができました。また、気になる子もいましたが、子供たち同士、互いに認め合いながら1つのものをつくる大切さを感じるすることができました。
- ・ あいさつは、学校の中でできても地域となると難しい。保護者世代が率先して地域の中であいさつをしてほしいと思います。地域で子供があいさつや会話をしてくれることがあります。自治会の行事に親子で参加してくれることもありました。学校と地域が一緒になって子供を育てることが大事です。声をかけてもらうととてもうれしいです。
- ・ 放課後の交通安全について気になることがあります。塾に行くのに、キックボードに乗って行く児童を見かけたこともあります。自転車の乗り方や交通ルールについては、大人のマナーも問題となっています。子供を守っていなければならぬと日々感じています。
- ・ 夕方、遅い時間まで外にいる児童が多くいます。習い事の時間まで外で遊ぶようです。。暗くなっているのにと気になっています。

4 まとめ

課題として「読書活動」と「挨拶」が挙げられます。読書活動にもう一工夫を加えること、そして主体的に他者とふれあい、あいさつができるようになるように来年度も引き続き取り組んでいきます。昔の遊び、ゴーヤ栽培、里山、書き初め、野菜作りと今年度も地域の方々にご協力いただき授業が広がりました。地域との活動は、児童にとって大きな財産となっております。

また、スクールガードの皆様には登下校の見守りをしていただき、感謝申し上げます。おかげさまで、今年度は大きな事故もなく安全に登下校できました。

今後も地域、保護者と学校が協力して教育活動の充実に努めてまいります。よろしくごお願い申し上げます。